

入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）：農学部

1 学部概要

農学部は、幅広く深い教養と豊かな人間性を基礎として、農学の基盤である「食料」「生命」「環境」分野における、基礎的・応用的・統合的な専門知識と技能を修得することにより、地域および国際社会の食料・生命・環境の諸問題の解決に貢献できる人材の養成を目的としています。

2 入学者に求める資質（求める学生像） 《学部共通》

(1) 知識・技能・理解

- ・ 農学の基盤である「食料」「生命」「環境」分野を学ぶに相応しい基礎学力を有する人

(2) 思考力・判断力・表現力

- ・ 農学分野に関する諸問題を全体的な視点から見出し、論理的にとらえ、探求する思考力と自らの意見をまとめ表現する能力を有する人

(3) 関心・意欲・態度

- ・ 学びで得た知識や経験、理論や技術を、明確な目的をもって農学および現実社会の諸課題の解決に生かす意欲のある人

(4) 主体性・協働性

- ・ 農学分野に関する諸課題を主体的に学ぶ積極性を持つとともに、創造性豊かな発想をもとに協働して学ぶことのできる人

3 入学前に修得しておくことを期待する内容 《学部共通》

- ・ 理科，数学，情報：内容の理解と応用力
- ・ 英語，国語：基礎的な読解力，表現力，文章力
- ・ 地歴・公民：基礎的内容の理解

※ 具体的な履修要件や入試科目は、選抜区分や学部等毎で個別に示しますので、各募集要項で確認してください。

4 入学者選抜の基本方針 《学部共通》

(1) 一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストと個別学力検査で「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」を評価します。調査書で「関心・意欲・態度」「主体性・協働性」を評価します。

(2) 一般選抜（後期日程）

大学入学共通テストで「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」を評価します。個人面接で「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲・態度」「主体性・協働性」を評価します。

(3) 学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課さない）

小論文試験で「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」を評価します。個人面接および出願理由書で「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲・態度」「主体性・協働性」を、調査書で「知識・技能・理解」を中心に総合的に評価します。

(4) 総合型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）

大学入学共通テストで「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」を評価します。個人面接および出願理由書で「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲・態度」「主体性・協働性」を評価し、調査書で「知識・技能・理解」を中心に総合的に評価します。

(5) 私費外国人留学生選抜

日本留学試験で、日本語力を含めて「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」を評価します。個人面接および出願理由書で「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲・態度」「主体性・協働性」を評価します。

【食料農学科】

1 学科概要

食料農学科では、人類の生存基盤である食料の生産とそれを基にした食品に関わる知識と技術の教育と研究を行い、地域・国際社会での食料生産、食品供給、健康分野における課題解決や新しい価値の創出を通じて、健康で持続的な食料と食品の生産・供給を担う人材を育成します。

2 コース概要

＜農学コース＞

農学コースでは、農作物の栽培技術の高度化とその生産基盤となる土壌の保全、植物の生産性・機能性の向上、品種開発、植物ウイルスを利用した先端技術の開発、食料安全保障を支える政策・戦略などに関わる教育・研究を通じて、持続的な食料生産のため農業および食品産業の問題解決に貢献できる人材を育成します。

＜食品健康科学コース＞

食品健康科学コースでは、食材や食品、その成分の物理的・化学的特性、高度な食品加工に関する知識や技術、食品、栄養および天然資源の健康機能性などに関わる教育・研究を通じて、国内外の食品産業の発展や超高齢社会において食を通じた人の健康に寄与できる科学的な知識と広い視野を備えた人材を育成します。

3 入学者に求める資質（求める学生像）

＜農学コース＞

（1）知識・技能・理解・思考力・判断力・表現力

- ・ 農学および農学を取り巻く学問体系を学ぶのに相応しい基礎学力を有する人
- ・ 農作物や農業生物を有益な資源として生かすために技術を学ぶのに相応しい基礎学力を有する人

（2）関心・意欲・態度・主体性・協働性

- ・ 持続的な食料の安定生産・供給を実現するための戦略・論理・技術を学ぶ意欲のある人
- ・ グローバルな視点から、農業および食品産業の抱える諸問題の解決に積極的に取り組む意欲のある人

＜食品健康科学コース＞

（1）知識・技能・理解・思考力・判断力・表現力

- ・ 食品素材の特性の解明と応用を学ぶのに相応しい基礎学力を有する人
- ・ 食品・栄養成分の体内での動きの解明とその健康への関わりを学ぶのに相応しい基礎学力を有する人

（2）関心・意欲・態度・主体性・協働性

- ・ 健康と食品機能について専門的知識を修得する意欲のある人
- ・ 食品・栄養成分、天然資源の化学的特性と生体利用の解明について専門的知識を修得する意欲のある人
- ・ 食や健康に関する課題に対応した高度な食品加工に関する知識と技術を修得する意欲のある人

【生命科学科】

1 学科概要

生命科学科では、生命科学、すなわち植物学・動物学・微生物学・健康科学など様々な学問の基礎的かつ共通部分における分子レベルでの知識と理解をベースに、様々な問題を解決し教育に展開することで、地球環境問題の解決、種の多様性の次世代への保存、健康寿命の延長など、次世代の諸問題の解決を先導できる人材を育成します。

2 コース概要

＜分子生物機能学コース＞

分子生物機能学コースでは、微生物、植物、昆虫、動物など様々な生き物の細胞や個体レベルで見られる多種多様な生物機能に関する分子レベルの解明を教育に還元することで、自ら発想し行動する力、独創性ならびに柔軟な対応力を養成し、グローバル化する社会でその力を発揮できる、自律性や判断力を持つ人材の養成を行います。

＜分子生命医科学コース＞

分子生命医科学コースでは、微生物から動物、ヒトに至るまでの生命現象を分子レベルで解明し、その知見を健康衛生、疾病の予防、再生医療技術などに生かし、人々の生活の質向上に寄与できる人材を育成します。

3 入学者に求める資質（求める学生像）

＜分子生物機能学コース＞

（1）知識・技能・理解・思考力・判断力・表現力

- ・ 微生物、植物、昆虫、動物などの生物機能を学ぶのに相応しい基礎学力を有する人
- ・ 生物機能の分子レベルでの解明と応用を学ぶに相応しい基礎学力を有する人

（2）関心・意欲・態度・主体性・協働性

- ・ 生物機能に関する知識を修得し、実験、研究科目を学ぶ中で、自ら発想し行動できる人
- ・ 教育成果をベースにバイオテクノロジーのフロンティアを築くことができる人

＜分子生命医科学コース＞

（1）知識・技能・理解・思考力・判断力・表現力

- ・ 生物多様性の重要性、感染症や疾患、老化現象を分子レベルで学ぶのに相応しい基礎学力を有する人
- ・ 生命現象の分子レベルでの解明と応用を学ぶのに相応しい基礎学力を有する人

（2）関心・意欲・態度・主体性・協働性

- ・ 健康衛生、疾病の予防、再生医療技術などに生かし、人々の生活の質向上に寄与できる人
- ・ 生命科学に関わる諸問題に取り組み、活躍することができる人

【地域環境科学科】

1 学科概要

地域環境科学科では、持続可能な食と農の科学、地域生態系の保全、森林資源の管理と持続的な利用、持続的農業生産と環境管理、農業インフラの整備、スマート農業システムの導入、グリーントランスフォーメーションについて、地球環境問題とSDGs達成を念頭に置いた教育を介して、未来の農林業を担う人材を育成します。

2 コース概要

＜革新農業コース＞

革新農業コースでは、農業と食を切り拓く革新的な農業技術について総合的に学びます。これをもとに、グローバルな視点と高度な専門知識を備えて地域農業を先導するとともに、持続可能な食料・農業・農村システムの実現に向けた取り組みを通じてSDGs達成に貢献できる人材を育成します。

＜森林科学コース＞

森林科学コースでは、東北地域の恵まれた自然環境を背景として、森林の持つ多様な環境保全機能や樹木資源の生産と利用、自然生態系の保全・管理、防災を含めた幅広い分野について総合的に学びます。これをもとに、自然との共生関係を築きながら発展できる地域社会の実現に貢献する人材を育成します。

3 入学者に求める資質（求める学生像）

＜革新農業コース＞

（1）知識・技能・理解・思考力・判断力・表現力

- ・ 農業生産インフラ整備と農村環境の保全、地域のネットワークづくりを学ぶのに相応しい基礎学力を有する人
- ・ スマート農業、次世代型食料システムの創出に関する知識と技術の修得に相応しい基礎学力を有する人

（2）関心・意欲・態度・主体性・協働性

- ・ 地域資源の適切な利用・管理と農村環境の保全、および地域振興について多面的に学ぶ意欲のある人
- ・ スマート農業、持続的な食料供給システムと資源の有効利用に関する最新技術を学ぶ意欲のある人

＜森林科学コース＞

（1）知識・技能・理解・思考力・判断力・表現力

- ・ 森林科学を学ぶに相応しい基礎学力を有する人
- ・ 多様な機能を活かした森づくりと利用・保全に関する知識と技術の修得に相応しい基礎学力を有する人

（2）関心・意欲・態度・主体性・協働性

- ・ 多様な機能を発揮できる森づくりと林産資源の利用に必要な知識と技術を学ぶ意欲のある人
- ・ 里地里山を含む地域生態系の保全と管理および防災の方策について学ぶ意欲のある人

【動物科学・水産科学科】

1 学科概要

動物科学・水産科学科では、畜産物および水産物の生産と供給を担う2つの産業基盤を背景とした教育・研究を行うとともに、野生動物や海洋生物の生理・生態とそれらの有益な利用方法に関する知識および技術の教育・研究を行い、動物・水産資源の安定的な生産と供給、その高度利用に貢献する人材を育成します。

2 コース概要

＜動物科学コース＞

動物科学コースでは、産業動物生産（畜産）と野生動物の保護・管理に関する知識および技術に関する教育・研究を基盤とし、産業動物を中心に様々な動物種における生理機能の解明、遺伝的改良と増殖、飼料生産と栄養・飼養、および動物資源の有効利用などを通じて、人と動物が共生する豊かな地域社会の創造に資する人材を育成します。

＜水産システム学コース＞

水産システム学コースでは、水産業に関わる基礎的な知識や技術に関する教育・研究を基盤とし、水産資源の生産（漁獲、増養殖）から、加工、流通にいたる一連のシステムを体系的に教育し、釜石キャンパスを活用することで、三陸沿岸域の水産業の復興、わが国の水産業成長産業化に寄与できる人材を育成します。

3 入学者に求める資質（求める学生像）

＜動物科学コース＞

- (1) 知識・技能・理解・思考力・判断力・表現力
 - ・ 動物生産および動物科学に関する知識と技術の修得に相応しい基礎学力を有する人
 - ・ 生命現象の解明と応用を学ぶに相応しい基礎学力を有する人
- (2) 関心・意欲・態度・主体性・協働性
 - ・ 動物科学への強い関心を有し、課題の探求と解決に取り組む意欲のある人
 - ・ 動物に関連した産業の諸問題の探求と解決に取り組む意欲のある人
 - ・ グローバルな視点から、動物に関連した産業の持続的発展に積極的な意欲を有する人

＜水産システム学コース＞

- (1) 知識・技能・理解・思考力・判断力・表現力
 - ・ 水産資源の管理・生産、その利活用、流通・販売に関する学問領域を学ぶに相応しい基礎学力を有する人
 - ・ 日本と世界の水産業の持続的発展の問題解決に必要な基礎的な思考・判断力を有する人
- (2) 関心・意欲・態度・主体性・協働性
 - ・ 三陸地域の社会と水産業に関心を持ち、東日本大震災からの復興と水産業の課題に取り組む意欲のある人
 - ・ 日本と世界の水産業の持続的発展の諸課題に関心を持ち、問題解決に取り組む意欲のある人
 - ・ 高い倫理観を持ち、持続的水産業構築の諸課題について積極的に携わる態度を備えた人

＜別表＞選抜に活用する評価方法とその評価項目

(1) 選抜に活用する内容

入学選抜方法	該当選抜区分	選抜内容
小論文	学校推薦型 編入学	文章を客観的に読解把握する力、内容に対する自らの考え方を述べる力、農学に関連する基礎学力について評価します。
個人面接	一般（後期） 学校推薦型 総合型Ⅱ 私費外国人留学生	複数の面接担当者による個人面接を行います。
個人面接 （口頭試問含む）	編入学	複数の面接担当者による個人面接を行います。また、基礎学力を確認するために、口頭試問を行います。
出願理由書	学校推薦型 総合型Ⅱ 私費外国人留学生	出願時に入学を希望する理由を本人が記入し、面接時に評価します。
調査書*	一般（前期） 学校推薦型 総合型Ⅱ 編入学	学習の記録を中心に総合的に評価します。

(2) 選抜に活用する内容の重点評価項目

学力の3要素・評価項目 選抜方法等		(1) 知識等	(2) 思考力等	(3) 主体性等	
		知識・技能・理解	思考力・判断力・表現力	関心・意欲・態度	主体性・協働性
大学入学共通テスト	一般（前期）				
	一般（後期）	○	○		
	総合型Ⅱ				
個別学力検査 ＜教科＞	一般（前期）	○	○		
	学校推薦型 編入学	○	○		
個人面接	一般（後期）				
	学校推薦型		○	○	○
	総合型Ⅱ				
	私費外国人留学生				
個人面接 （口頭試問含む）	編入学	○	○	○	○
出願理由書	学校推薦型				
	総合型Ⅱ			○	○
	私費外国人留学生				
調査書*	一般（前期）			○	○
	学校推薦型				
	総合型Ⅱ	○		○	○
	編入学				
日本留学試験	私費外国人留学生	○	○		

*一般選抜（後期日程）においては、調査書は、高大接続及び学力の3要素評価の観点から、総合判定の資料として活用します。